



247

若竹だより



【巻頭言】

心に守護神を

一人にはこころの依り拠が必要だ一

園長 野田大燈

50才の若さで他界した父の50回忌を迎えようとしています。

脳梗塞が原因で長く病床にあった父でしたが、私が20才の折に他界しました。

父が亡くなった後も「このような難問が起きた場合、父はどのように対処したろうか?」と何時も判断の基準にしていました。

そして私が父の亡くなった年令の50才を迎えた時、私は得も言えぬ不安と焦燥に駆られました。

亡き父の位牌の前に座って話しかけても、答えてくれる訳ではありませんが、父を介在して自問自答していると不思議に解決の糸口が見いだせていたのです。

その意味では私は意志の弱い自立出来ない人間と言えるかもしれません。

自立とは自分で判断して自分で結論を下して実行し、失敗すれば責任を負う事です。

親兄弟や友人知人に助けてもらえる内はよいが、やがては自分で判断を求められることがあります。

自分で判断が付けられないために、易者や霊能者に頼る人も少なくないそうです。

でも最終的に必要なのは「自己決断」では

ないでしょうか。

先日の研修会に参加した折に大学の心理学専攻の講師の方が「人間には感情があるから、実の両親や兄弟友人でも感情に振り回されて冷静な判断が下せない時もある。父母を超えて正しい解答を示してくれるあなたの『守護神』を持たなくてはならない」と話された。

そして困った時は「守護人様、あなたならこのような時に如何に考え判断されますか、と聞きなさい」と言われた。

児童施設に関わっていると、児童自身ではとても重荷で解決に苦しむケースは多々あります。

施設入所中は職員や児相に相談すれば解決できるかもしれませんが、退所して自立した場合にすべてを他人に頼ることは難しいと思います。

その時のために、今から自分が最も信頼できる守護神(本当は自分自身なのですが)を持って「対話」の練習をすべきではないかと感じました。

「若竹の願い」の中に『こころ静かに考える人間となろう』とあります。

無心になってじっと坐っていると、大きな閃きがあります。

無心になった時に初めて「守護神様」が手を差し伸べてくれると思います。

その為に必要なことは、自分自身に偽りが無いことです。

一了一

サマーキャンプ

8 月 18・19 日に毎年恒例のサマーキャンプに行ってきました。今年は、しょうゆ作りの見学とマイしょうゆ作り体験、海水浴、プールなどたくさんの活動をしました。

しょうゆ作りでは、4 種類を自分好みにブレンドして世界に一つのしょうゆを作り子ども達も楽しかったようです。



初日の食事は、自分達で食材を買いに行き、BBQ をしました。2 日目の昼食は緊急時の非常食作りを体験しました。普段から食育行事で野外炊飯をすることが多く火起こしはお手のものでした。非常食作りでは、お米と水をビニール袋に入れて 20 分間湯煎をするとご飯が炊けることを実際に体験しました。少し芯の残ったご飯もありましたがおいしく頂きました。



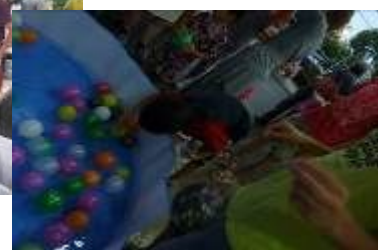
2 日目の午前中にウォーターサバイバルという水鉄砲を使った競技をしました。仲間同士で作戦をたて楽しんでいました。

園生全員大きなけがや病気もなく無事に返ってくる事が出来ました。学園に帰るバスの中は遊び疲れてぐっすり寝入っていました。

学園から離れて様々な体験をし、子ども達もまた一つ成長できたのではないかと思います。

大寿苑夏祭り

8 月 3 日(日)、日頃から交流のある特別養護老人ホームの大寿苑さんに招待いただき夏祭りに参加しました。台風で天候が心配される中でしたが、うどんやフライドポテト、かき氷、ヨーヨーなどたくさんの出店があり大寿苑の方に優しく声を掛けてもらいながら夏祭りを楽しませて頂きました。大寿苑のみなさんありがとうございました。



ボードゲームを購入

最近、子ども達の希望であった室内で遊べるボードゲームを購入しました。お店で何が良いかと相談しながら、ドンジャラとオセロなど様々な遊びが楽しめるゲームを購入しました。遊び始める前に職員とルールを決め、楽しく遊べるように工夫をしました。子ども達は初めてやるゲームに興味津々で、熱中していました。ゲームを通じて友達と仲良く出来る練習が出来ればと思います。



大切に使います！！

食育

毎月 1 回行っている食育行事、7 月は 26 日 (土) に野外ピザ作り、8 月は 13 日 (水) にお盆のおはぎ作りをしました。

野外ピザ作りは学園に新しく作られたピザ釜を利用して作りました。ピザ釜は地震など緊急時に野外で食事を作ることが出来るようにするために作られたものです。今回初めて使ってみましたが、子ども達で火起こしから始めて上手に焼き上げることが出来ました。一人一枚ぺろっと完食でした。

今後はピザ以外の料理にも挑戦していきたいです。

おいしかった



おはぎ作りは、お盆のお供え物として作りました。近年家庭でもお供え物を手作りする機会が少なくなっているため日本の年中行事を経験しようと去年から行っています。おはぎ作りが初めての子も多く興味を持って作っていました。食べる前に学園のお地藏様にお供えをしました。



これを機にご先祖様に感謝して日々を過ごす意識がついてくれればと思います。

毎月の食育行事も子ども達に浸透してきており、火起こしや包丁の使い方など様々な力を身に付けて来ています。

夏休み!

今年は台風や雨が多く天候に恵まれない日も多かったですが、子ども達は暑さに負けず夏を満喫していました。夏休み中でなければできない海水浴や川遊び、プール、ドッジボール大会、ウォーターサバイバルといった遊びをたくさんすることが出来ました。

〈海水浴〉



岩場まで競争だ!

〈ドッジボール大会&かき氷〉

ドッジの後のかき氷は最高!



〈川遊び〉



冷たくて気持ちがいい

ひと夏で子ども達はたくさんの経験をし、少しずつ成長しているのが分かります。

園生作品展

子どもたちは余暇時間を利用して様々な活動をしています。その中で今流行っているものの一つとしてペーパークラフトがあります。薄い紙を切って貼り合わせていくのはとても繊細な作業です。途中で投げ出すことなく作り上げる姿に感心しています。

〈招き猫〉



Q. 難しかったところは？
顔の部分。細かいパーツで出来ていて、きれいに貼りあわせるのが大変だった。

〈ペンギン〉

Q. どの部分が好き？
顔の部分。最後に貼りあわせるから難しかったけど、上手く貼れたから。



生き物通信

学園で育てている金魚の隣に夏休み中だけ、学校で世話をしているミドリガメとメダカが仲間入りしています。さらに今の時期は敷地内で見つけて幼虫から育てたカブトムシもあり子ども達は毎日世話を頑張っています。



〈金魚〉



〈メダカ〉



〈カメ〉



3 日 大寿苑夏祭り

13 日 おはぎ作り

18・19 日 キャンプ

25 日 防災訓練

夏野菜収穫

畑に植えた夏野菜がたくさん実り収穫しました。今年はトマト、キュウリ、ゴーヤ、ウリと様々な野菜を植えました。調理してもらっておいしくいただきました。

夏野菜が終わるとまた秋に向けての土づくりや草抜きをしてまたたくさん収穫できるように準備をしたいと思います。



編集後記

夏休み中、キャンプや海水浴と子ども達との良い経験が出来ました。2学期に入りまた落ち着いて生活出来るよう気持ちの切り替えをしていきたいです。 保育士 山倉麻由子

第 247 号発行

〒761-8004 香川県高松市中山町 1501-192

TEL 087-882-1000 FAX 087-882-1160

ホームページ <http://netwave.or.jp/~wakatake/>

Eメール wakatake@mail.netwave.or.jp

編集兼発行者 若竹学園 編集委員

発行責任者 野田 大燈